

謝失火御見舞

青葉の候、会員各位には愈々御清榮の上、斯道のため御精進のこととおよろこび申し上げます。

さて去る三月廿六日拙宅失火の際は、早速渡邊委員長を始め大方会員諸氏の消火並に御見舞をいただき、實に有り難く厚く御禮申し上げます。就ては焼失の二階は知友各位の御同情により、当市佐伯組の手で五月末復旧致しましたから、他事ながら御安心を願います。只々私として遺憾に堪えないのは、研究と整理の都合上書庫から二階二室に移し置きました郷土関係の図書文献を始め、主要藏書と原稿類を灰としたことであります。一時は茫然自失、日に増し淋しさを痛感致して居りますが、せめて各位の御援助により郷土関係のものだけでも蒐集致し度いと思つて居ります。勝手ながら入手の御便宜をお與え下さるならば、幸甚と存じます。實は一々拜趨御禮申し上ぐべき筈のところ、尊名御伺いもれ等もあるかと存じ、略儀ながら本誌上にて厚く御禮申し上げます。

昭和三十年六月十日

大分市上野町北の一組

立川輝信

編輯後記

本号で昭和二十九年度を終ります。思えば昨年六月本会発足以來各種の草創期の障がい乗り越え、ようやく四号をお届けする運びとなりました。その間委員の目に見えない労苦は一方ならぬものがありました。幸い会費納入や原稿の集りも順調で、才二年度を迎えるに至つた事は、一重に会員諸氏の御援助の賜であり、同慶に堪えません。本年度は更に多数の会員の獲得と、雑誌内容の質の向上により一段の努力を要するものと思ひます。同人諸氏の積極的援助を御願いと共、一層の御健闘を期待する次第です。

(渡辺)

昭和三十年六月十六日 印刷
昭和三十年六月十七日 発行

年会費 二五〇円
分売は本号に限り一〇〇円

大分県地方史研究会

編集兼 渡邊澄夫
発行人 代表者 高井久雄

印刷人 高井久雄
大分市上野 電話一七七五

印刷所 三恵印刷株式会社
大分市駄原大分大学

学芸学部国史研究室内

発行所 大分県地方史研究会
(振替口座下関五二四九番)